

令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：072.歴史社会論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。  
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

以下の問題Ⅰ～Ⅲは選択問題である。Ⅰ～Ⅲから1つを選んで日本語で答えなさい。

Ⅰ. アメリカ移民史に関して、以下の設問1と2の両方に答えよ。

1. アメリカ移民史に関わる以下の5つの用語から2つを選び、それらに関する構造的また歴史的な背景を考慮しながら、それぞれの用語について具体的に説明せよ。

- (ア) California Alien Land Law of 1913
- (イ) CASA (Centro de Acción Social Autónomo)
- (ウ) Cuban Revolution
- (エ) Executive Order 9066
- (オ) Asian American Movement

2. アメリカ合衆国内の20世紀における労働運動の歴史を移民労働者の状況を考慮しながら説明せよ。

Ⅱ. 近現代ヨーロッパ史に関して、以下の設問1と2のすべてに答えよ。

1. 次の項目から2つを選び、詳しく解説せよ。

- (ア) フランス革命とカトリック教会の関係
- (イ) 1848年革命におけるスラヴ人の役割
- (ウ) 第一次世界大戦の開戦原因
- (エ) 20世紀の南アフリカ社会における白人と黒人の関係
- (オ) 歴史学におけるパーソナル・ナラティブ論の内容と研究史上の意義

2. 以下の文章 (Anna Sosnowska, *Explaining Economic Backwardness: Post-1945 Polish Historians on Eastern Europe* (Budapest–New York: Central European University Press, 2019) の一部) を読み、全文を日本語に翻訳せよ (文章は次のページに掲載されている)。

令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：072.歴史社会論

Anna Sosnowska, *Explaining Economic Backwardness:  
Post-1945 Polish Historians on Eastern Europe*  
(Budapest-New York: Central European University Press,  
2019, 87-88 より引用)

令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：072.歴史社会論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問(ローマ数字のⅠ、Ⅱ……)ごとに別の解答用紙を用いること。  
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

Ⅲ. 自然と人間のかかわりあいの歴史(環境史)に関して、以下の設問の1～3のすべてに答えよ。

1. 以下の3つの選択肢(ア)～(ウ)から1つ選択し、日本語・中国語・英語・アラビア語の中から2つ以上の言語を選択して、その意味する内容や概念の違いについて比較しながら、環境史(environmental history)すなわち自然と人間のかかわりあいの歴史をふまえて、説明しなさい。

- (ア) 環境(environment)
- (イ) 生活(livelihood, a way of life)
- (ウ) ネットワーク(network)

2. 「口承文芸」(oral literature) 概念の内容とその意義について、関連する人文学・社会科学の諸理論を検討しながら論じなさい。

3. 乾燥地における科学知(scientific knowledge)と在来知(traditional/indigenous knowledge)の具体例をあげながら、それらの砂漠化対処(combating desertification)への応用に際しての課題について、政治・経済的側面また社会・文化的側面から、論じなさい(自分の研究関心に引き寄せてもかまわない)。